

こんなところに防災製品

(公財)日本防災協会 広報室

1. 「モスバーガーの店先の旗に防災ラベルがついています」との情報が広報に寄せられ、調べてみました。



(株)モスフードサービスの広報担当者にお聞きすると、防災ラベルがついていたのは、販売促進用に全国約1400店舗で掲示している「のぼり旗」でした。

全国一斉に販売展開する商品については、本部で作成しているとのこと。

屋外で消防法の規制が及ばない場所にも設置される防災製のぼり旗は、万が一火災（放火）があっても被害拡大が抑制されるため、店舗近隣の環境への配慮になれば、とのことでした。食の安全だけでなく防災減災を考慮し、環境に配慮した店舗を全国的に展開するなど防災意識をもった企業の姿勢が感じられます。

(株)モスフードサービスは、「地域ごとの小規模な販売促進ツールでは、防災製品ではないこともありますが、務めて防災製品を使い、店舗周辺の火災予防にお役だてできるように心がけていきたい」と話していました。



2. 防災製の障子を導入している老人保健施設があるとのことで訪問しました。



施設外観

この施設は、福島県郡山市磐梯熱海温泉近くの一般財団法人太田綜合病院附属介護老人保健施設「桔梗」です。耐火造2階建てで竣工当時には、国内県内の多くの建築に関する賞に輝くデザイン性豊かな施設です。屋内の各居住スペースには木質が多く取り入れられ、当然、カーテンや絨毯は防災製ですが、木製の床とともに落ち着きのある障子が多く取り入



れられており、この障子に使われている紙が防災製品です。木製フロアと木質障子が良くマッチし、たいへん安らぎが感

じられる部屋となっており、増子事務長に導入のいきさつを伺うと、「このような施設で一番気を使うのは火災を起こさないことです。職員は年に2回ほど消火や避難の訓練を行っていますが、その点、防災の障子であれば、万が一火災が発生しても火の回りをより遅らせることができると思うので非常に心強い。入所者の



皆さんの安心安全にもつながるのでは」と話していました。カーテンや絨毯を除いた消防法の規制が及ばない障子にまで防災性能を求めたこの老人保健施設ですが、全体として採光が行き届いているだけでなく、雰囲気にも明るさを感じられました。

